

●博士課程前期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、経済学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 経済学の高度な専門性を体系的に身につけるために、基礎的な知識・能力の習得をめざす必修科目から始め、一層高度な専門科目の履修へと進み、さらに学位論文を作成する段階的カリキュラムとする。
2. 高度に論理的・数理的に思考する能力を身につけるために基礎理論系科目および数量分析系科目を開設する。
3. 社会において生じている事象を高次のレベルで的確に分析し、その事象を解明できる能力を身につけるために応用系分野別科目を開設する。
4. 高次のレベルで分析、解明したことを総合し、的確に表現できる能力と創造性を身につけるために演習・特殊研究等を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・その他演習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で到達度を判定する。

●博士課程後期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、経済学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 自立して研究を行う能力を身につけ、高度の専門性に基づく学位論文を作成することを目指して、特定教員による個別指導を中心としたカリキュラムとする。
2. 論理的・数理的に思考する能力および社会事象を最も高次のレベルで分析・解明して新たな知見を明らかにできる能力を身につけるために、特定教員による指導を受ける演習と関連分野の教員から指導を受ける特殊研究とを開設する。
3. 高次のレベルで分析・解明したことを総合し、独自の知見としての的確に表現できる能力を身につけるため、公開セミナーを実施し、報告を義務づける。

なお、これらのカリキュラムは、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- 講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。
- その他演習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。

経済学研究科カリキュラムマップ

		博士課程前期課程 1年次		博士課程前期課程 2年次		
		前期	後期	前期	後期	
論理的・数理的に思考する能力 *:基礎的な知識・能力	(後期課程非進学者)	*基礎ミクロ経済学 *基礎計量経済学 *経済数学 *Microeconomic Analysis I *Macroeconomic Analysis I	*基礎マクロ経済学 産業連関分析 (Input Output Analysis) *Econometric Analysis I	ミクロ経済学 I 計量経済学A マイクロデータ分析	マクロ経済学 I 計量経済学B 応用時系列分析	博士課程後期課程 1~3年次 演習 特殊研究 博士論文公開セミナー 六甲フォーラム
	(後期課程進学者希望者)	*ミクロ経済学 I *ミクロ経済学 I 演習 *計量経済学A *経済数学	*マクロ経済学 I *マクロ経済学 I 演習 *計量経済学B 産業連関分析 (Input Output Analysis)	マクロ経済学 II マイクロデータ分析	ミクロ経済学 II 応用時系列分析	
分析を総合し、表現する能力		演習	演習 特殊研究	演習 特殊研究	演習 特殊研究 修士論文公開セミナー	
		Seminar for Economics Studies 日本経済演習				
社会的事象を分析・解明する能力		行動ゲーム理論特論 ミクロ計量分析 欧州統合史 (History of European Integration) 日本金融史 I (Financial History of Japan I) 現代技術論 (Economics of Innovation) 環境経済論 (Environmental Economics) 環境政策 (Environmental Policy)	産業組織論 (Industrial Organization) 労働経済学 (Labor Economics) 農業政策 (Agricultural Policy) 社会政策 (Social Policy) 財政学 (Public Finance) 公共経済学 (Public Economics)	ファイナンス (Finance) 国際金融論 金融経済論 (Monetary Economics) 金融システム論 応用国際経済学 I・II・III 国際貿易論 (International Trade)	国際マクロ経済学 (International Macroeconomics) インド経済論 中国経済論 ロシア・東欧経済論 日本経済論 アジア経済論 ヨーロッパ経済論 (European Economy) ラテンアメリカ経済論	空間経済論 Topics of Development Economics Comparative Economic History Household Economics その他臨時開講科目

